

東京春祭を楽しむ(33)

—ライブ配信(33)—

1. 始めに

Web 情報紹介【2023No.44】で紹介した東京春祭 23 の 3 月度プログラムから興味を引いたプログラムを視聴していきます。今回は、前橋汀子カルテットの演奏を視聴しました。

2. 東京春祭ライブ配信の試聴方法

試聴方法は下記のとおりです。

PC→UACU-700→Sonica DAC→BACU-1000→DA-3000→Brooklyn DAC+
→BACU-2000→TruPhase→BACU-2000→300B→FAL C90EXW

これらの経路には仮想アース、MRF-005T および SPA-7 が装着されています。
プログラムは次のとおりです。

日時・会場

2023 年 3 月 30 日 [木] 14:00 開演 (13:30 開場)

東京文化会館 小ホール

出演

前橋汀子カルテット

ヴァイオリン：前橋汀子、久保田 巧

ヴィオラ：川本嘉子

チェロ：原田禎夫

曲目

ベートーヴェン：

弦楽四重奏曲 第 4 番 ハ短調 op.18-4

弦楽四重奏曲 第 11 番 ヘ短調 op.95 《セリオーズ》

弦楽四重奏曲 第 14 番 嬰ハ短調 op.131



3. 東京春祭ライブ配信の試聴結果



前報(32)は若手の女性奏者のカルテットでしたが、今回は前橋汀子を中心とするベテラン奏者のカルテットによるオールベートーヴェンプログラムです。

弦楽四重奏曲の第4番、第11番《セリオーン》、第14番と、初期、中期、後期の曲が選択されました。

第4番はどこか古典派のような表情もうかがえる曲、第11番はお馴染みの名前のおり生真面目で緊張感のある曲、第14番は穏やかな表情から軽快にそして勇壮にと表情を変えていくなど、ベートーヴェンの初期、中期、後期の弦楽四重奏曲の変遷が良く分かりました。

マイクは頭上の吊りマイクで前報(32)よりは音は良いのですが、同じホールの演奏の前報(29)と前報(30)よりは、弦の艶が出切っていない印象です。しかしながら今年の春祭よりは音の粗さが取れていました。

4. まとめ

東京春祭のライブ配信の受信ができき、昨年との比較では、仮想アースやスピーカーアキュライザーの効果が確認できました。

以上